

ベクトル空間の定義 演習問題2 解答

V を集合とし、 \mathbb{K} は \mathbb{R} あるいは \mathbb{C} とする。 V は

- どんな $x, y \in V$ に対しても、その和と呼ばれる V の元がただ1つ定まっている (これを $x + y$ と表す),
- どんな x と $a \in \mathbb{K}$ に対しても、 x の a 倍と呼ばれる V の元がただ1つ定まっている (これを ax と表す)

をみだし、さらに以下の (V1) ~ (V8) の条件をみたとする。このとき V を \mathbb{K} 上のベクトル空間、あるいは \mathbb{K} 上の線形空間という。

(V1) どんな $x, y, z \in V$ についても、 $(x + y) + z = x + (y + z)$ (結合法則),

(V2) $x, y \in V$ についても、 $x + y = y + x$ (交換法則),

(V3) ある特別な元 $o \in V$ が存在して、どんな $x \in V$ に対しても $o + x = x$ が成り立つ (o を零ベクトルという),

(V4) 各 $x \in V$ に対し、 $x + x' = o$ をみたすような x' が存在する (x' を $-x$ と表し、 x の逆ベクトルという),

(V5) どんな $a, b \in \mathbb{K}$, $x \in V$ についても、 $(a + b)x = ax + bx$,

(V6) どんな $a \in \mathbb{K}$, $x, y \in V$ についても、 $a(x + y) = ax + ay$,

(V7) どんな $a, b \in \mathbb{K}$, $x \in V$ についても、 $(ab)x = a(bx)$,

(V8) どんな $x \in V$ についても、 $1x = x$.

問 1. V を \mathbb{K} 上のベクトル空間とする。以下の問に答えよ。

- (i) $o' \in V$ は、どんな $x \in V$ に対しても $o' + x = x$ をみたすとする。このとき、 $o' = o$ となることを示せ (すなわちベクトル空間 V に対して、零ベクトルはただ1つである)。

解答. $o' \in V$ は、どんな $x \in V$ に対しても $o' + x = x$ をみたすことから、

$$o = o' + o$$

が成り立つ。また、(V2) と (V3) より

$$o' + o = o + o' = o'$$

が成り立つ。したがって、 $o = o'$. ■

- (ii) $x \in V$ とする。また、 $y \in V$ は $x + y = o$ をみたすとする。このとき、 $y = -x$ となることを示せ (すなわち $x \in V$ に対して、 x の逆ベクトルはただ1つである)。

解答. (V3) より

$$y = o + y = (x + (-x)) + y$$

が成り立つ。また、

$$(x + (-x)) + y = ((-x) + x) + y = (-x) + (x + y) = (-x) + o = o + (-x) = -x$$

が成り立つ。ここで、1番目と4番目の等号は (V2) を、2番目の等号は (V1) を、3番目の等号は y の性質を、5番目の等号は (V3) を用いた。したがって、 $y = -x$. ■

(iii) $x \in V$ とする。このとき、 $0x = o$ となることを示せ。

解答. $0 = 0 + 0$ であることと、(V5) を用いて

$$0x = (0 + 0)x = 0x + 0x,$$

すなわち $0x = 0x + 0x$ が成り立つことがわかる。ここで、(V4) より存在が保証される $-0x$ を両辺に加えると

$$0x + (-0x) = (0x + 0x) + (-0x)$$

を得る。左辺は (V4) より

$$0x + (-0x) = o,$$

右辺は (V1) と (V4)、さらに (V2)、(V3) を用いれば

$$(0x + 0x) + (-0x) = 0x + (0x + (-0x)) = 0x + o = o + 0x = 0x$$

とわかるから、結果として

$$o = 0x$$

を得る。 ■

(iv) $x \in V$ とする。このとき、 $(-1)x = -x$ となることを示せ。

解答.

$$x + (-1)x = 1x + (-1)x = (1 + (-1))x = 0x = o$$

が成り立つ。ここで1番目の等号は (V8)、2番目の等号は (V5)、最後の等号は (iii) の結果を用いた。よって

$$x + (-1)x = o$$

を得るが、これは (ii) の結果から

$$(-1)x = -x$$

を意味する。 ■

注意 . (V2)(V3) からどんな $x \in V$ に対しても

$$x + o = x,$$

$$x' + x = o \Rightarrow x' = -x$$

が成り立つことにも注意せよ。